

過去および現ゼミ生の論文タイトル

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/27147

過去および現ゼミ生の論文タイトル

<2001年卒業生（第1期生）>

【卒業論文】

加藤 千佳 「『会う』VS『逢う』 —漢字から受けるイメージと使い分け—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2001, pp.37-48）所収

佐渡 智美 「現実と非現実の性差—小説から見えるもの—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2001, pp.23-35）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23512>

<2002年卒業生（第2期生）>

【卒業論文】

佐藤 千馨 「日常言語の可能性について」

茅根 滋 「経済的観点から見る日米ヒット曲の歌詞構造とその法則性」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2002, pp.83-96）所収

森 大介 「上手な皮肉の使い方—小泉保の三つの分類から—」

山田 均 「街にあふれるコトバについての考察」

山本 明奈 「学校における呼称」

山本 幸恵 「雑誌の中に見る性差」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2002, pp.97-111）所収

渡辺 敬太 「現代の若者における『やさしい』とは」

上記のうち『学生論集』掲載論文はつぎのサイトでダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23511>

<2005 年卒業生（第 3 期生）>

【共同論文】

網田 百合香

山崎 瞳

ユリア・クールマン（研究留学生）

「『生茶』は生か？」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2004, pp.1-9）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23510>

【卒業論文】

網田 百合香

「TV ショッピングにおける説得方法の日米比較」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2005, pp.89-101）所収

山崎 瞳

「非言語の壁—美容室でのコミュニケーションから—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2005, pp.15-30）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23509>

<2006 年卒業生（第 4 期生）>

【共同論文】

磨矢 順子(代表)「しつけ言葉から探る『理想的』人間像」

(平成 16 年度学長奨励費研究)

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.1-26)所収

…『平成 16 年度学長奨励費研究結果論文集』(2006, pp.35-40)所収

【卒業論文】

磨矢 順子

「しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準」

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.27-64)所収

<2007 年卒業生（第 5 期生）>

【共同論文】

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真利

「ステッカーから見る『物言わぬ日本人』」

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.65-80)所収

…『平成 17 年度学長奨励費研究結果論文集』第 2 号(2006, pp.44-51)所収

…金沢大学経済学会『学生論集』(2006, pp.1-10)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23508>

【卒業論文】

小長谷 春奈 「女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007, pp.31-46)所収

田中 千尋 「『私、ホントに結婚できるのかしら？』 —『読者』は表紙コピーと会話する—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007, pp.47-63)所収

堀田 真莉 「『信頼を裏切り申し訳ありません』 —謝罪会見記事からみる職業と人格—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007, pp.65-84)所収

<2009 年卒業生 (第 6 期生) >

【個別研究】

鍵主 智美 「お母さんわたしと太郎君なぼく —日本語教科書における男女表現について—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 卷(2008, pp.1-17)

鍵主 智美 「『やさしさ』の意味変化 —辞書記述に基づく語義分析—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 卷(2008, pp.19-35)

【卒業論文】

鍵主 智美 「国語教科書と日本語教科書の比較 —ジェンダーの視点から—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 4 卷(2009, pp.1-24)所収

< 2009年修了生（修士課程修了第1期生） >

【修士論文】

- 尹 秀美 「夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較 —コンテキスト化の合
図という観点から—
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第4巻(2009,
pp. 25-106)

*

【金沢大学経済学部社会言語学演習発行『論文集』】

『論文集』第1巻（2006） 目次

磨矢 順子

しつけ言葉から探る『理想的』人間像・ 1

しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準・ 27

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真莉

ステッカーから見る「物言わぬ日本人」・ 65

『論文集』第2巻（2007） 目次

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真莉

諸外国との比較から見る「物言わぬ日本人」・ 1

小長谷 春奈

女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化・ 31

田中 千尋

「私、ホントに結婚できるのかしら？」

—「読者」は表紙コピーと会話する— 47

堀田 真莉

「信頼を裏切り申し訳ありません」

—謝罪会見記事からみる職業と人格— 65

尹 秀美（ユン・スウミ）

日韓の夫婦間の呼びかけ表現

—先行研究の問題点と今後の展望— 85

『論文集』第3巻(2008) 目次

鍵主 智美

お母さんわたしと太郎君なぼく

—日本語教科書における男女の表現について— 1

鍵主 智美

「やさしさ」の意味変化

—辞書記述に基づく語義分析— 19

尹 秀美 (ユン・スゥミ)

呼びかけ表現の使用パタンの日韓比較

—インターネットサイト上のメッセージを例に— 37

윤 수 미 (尹 秀美)

한·일 夫婦간 직접호칭 표현

[日韓の夫婦間の呼びかけ表現]

—선행연구의 문제점과 앞으로의 전망—

[—先行研究の問題点と今後の展望—] 49

西嶋 義憲

コミュニケーション行動制御慣用表現の日独対照研究のために

—視点の違い— 63

『論文集』第4巻(2009) 目次

鍵主 智美

国語教科書と日本語教科書の比較

—ジェンダーの視点から— 1

尹 秀美

夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較

—コンテクスト化の合図という観点から— 25

『論文集』第5巻(2010) 目次

尹 秀美

話し手責任と聞き手責任

—発話理解における話し手の貢献度の

日韓比較— 1

尹 秀美

日本人と韓国人の発話理解の責任主体

—テレビドラマの会話分析に基づいて— 21

Sumi YOON (尹 秀美)

Can fillers function as contextualization cues in a Japanese conversation?

—Based on comparison of address terms

in Japanese and Korean— 39

上記『論文集』各巻所収の論文はつぎのサイトからダウンロード可能:

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/17070>

【他誌掲載論文など】

尹 秀美:「呼びかけ表現を好む韓国人、呼びかけ表現を避ける日本人 —コンテキスト化の合図という観点から—」神田外語大学韓国語学会『韓国語学年報』4, 2008, pp. 21-31.

Sumi YOON: “Comparison between Korean and Japanese address terms as contextualization cues in husband-wife's dialogue.” *Inquiries into Korean Linguistics III*, 2008, pp. 377-387.

Sumi YOON: “Can fillers function as contextualization cues in a Japanese conversation? — Based on comparison of address terms in Japanese and Korean —.” Shizuoka: Paper presented at the 10th Annual International Conference of the Japanese Society for Language Sciences (JSLS), 2008.

Sumi YOON: “A Contrastive Study of Metacommunicative Functions of Address Terms between Husband and Wife in Korea and Japan.” *Current Issues in Unity and Diversity of Languages*, 2008, pp. 3819-3831.).

Sumi YOON: “Speaker-responsibility and hearer-responsibility: A comparison of

speaker's contribution to understanding in a conversation in Japanese and Korean." Kumamoto: Paper presented at the 15th Annual Conference of International Association for Intercultural Communication Studies (IAICS), 2009.

論文集 第6巻
2010年度社会言語学演習研究論集
2011年3月23日発行

編集 金沢大学経済学部社会言語学演習（代表 西嶋 義憲）
発行 金沢大学経済学部
〒920-1192 金沢市角間町
Tel : 076-264-5428
Fax : 076-264-5444
E-mail : yotchan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
印刷 田中昭文堂印刷株式会社